

# 公立中高一貫校入選(入試)概況

◎ 公立中高一貫校では、正式には入試とは呼ばず、行政に合わせて「入学者選抜(略して入選)」の用語を使用しています。

## ◆ 東京都

東京都の公立中高一貫校は11校で、11校合計の応募者数は、2017年が9,248名、一昨年は9,094名と減少、昨年は9,156名と、小幅ですが増加したものの、今年は8,762名と再び減少しました。昨年は23区が減少、多摩地区は増加していましたが、今年は23区、多摩地区とも少し減っています。

東京都教育委員会は、一貫校で高校募集を行っている白鷗高附属、両国高附属、大泉高附属、富士高附属、武蔵高附属について、2021年度から段階的に高校募集停止・完全一貫化と中学段階での定員拡大の予定ですが、今年の入選状況にはあまり影響しておらず、全体的に難化が進んでいることから、敬遠ムードが見られるための応募者の減少です。

まず区立の九段中等から。同校は応募枠が区分A(千代田区民枠)と区分B(千代田区民外枠)に分かれています。昨年の区分Aは男子の応募者が増加、女子は一昨年並みでしたが、今年は男子が昨年並み(厳密には1名増加)、女子は増えています。区分Bは、昨年が男女とも減っていて、今年は男子が昨年並み、女子はやや減っています。男子は区分A・Bとも難度に変化はなさそうです。女子の区分Aはやや難化したかもしれません。区分Bは高倍率ですから、少々応募者が減っても難度はあまり変わっていないでしょう。

続いて都立です。白鷗高附属は帰国・外国人枠、伝統文化の特別枠、一般枠の三本立てです。帰国・外国人枠は新設3年目の小規模な選抜で、今年は男女とも応募者が少し減りました。隔年現象になってきたようです。伝統文化の特別枠は男女とも増加しましたが、どちらも性格上、難度のコメントは控えます。この記事の最後に内訳を載せました。一般枠は昨年に続いて男女とも少し応募者が減りましたが、難度に影響するほどではありません。小石川中等の特別枠は、今年も小規模の選抜で、女子の応募者が1名増えています、

難度のコメントは控えます。一般枠は、昨年は男子の応募者がやや減って、女子は少し増えましたが、今年は男女とも減りました。都立一貫校の最難関ですから、「無理はしない」という受験ムードを反映しての結果でしょう。高倍率校ですが、男女とも少し入りやすくなったかもしれません。

両国高附属は、昨年は男子の応募者が増加、女子は一昨年並みでしたが、今年は男子が若干減って、女子は増加、女子の人气が上がった結果でした。男子は昨年並みの難度だったようですが、女子はやや難化したかもしれません。桜修館は昨年、男子の応募者が一昨年並み、女子は少し増えていましたが、今年は男子が微増、女子はやや減っています。男子は安定した人气が続いています。男子は特に難度に変化は見られず、女子も応募者が減ったからと言って、入りやすくなるほどではありませんから、こちらも難度は昨年並みだったようです。

大泉高附属は昨年、男女とも応募者が少し減っていましたが、今年は男子が減少、女子は若干増加しました。男子は少し入りやすくなったかもしれません。女子は特に難度に変化は見られなかったようです。富士高附属は昨年、男子の応募者が一昨年並み、女子はやや減っていましたが、今年は男子が増加、女子は若干増えています。女子の応募者数は、以前は隔年現象が見られましたが、変化は小幅になって安定傾向が見られるようになってきました。男子は少し難化したようです。女子の難度はほとんど変化していないと思われます。

続いて多摩地区です。三鷹中等は、昨年は男子の応募者が一昨年並み、女子は大幅に増えていましたが、今年は男子がやや減って、女子は目立って減りました。女子は、昨年の高倍率に対しての敬遠がはっきり出た結果で、男子の小幅の減少は女子に影響されたものでしょう。男子は難度が変わるほどではありませんでした

が、女子は少し入りやすくなっています。ただ、昨年の女子がかなり厳しくなったことの反動です。立川国際は昨年、帰国・外国人枠の男女、一般枠の女子が一昨年並みの応募者数、男子の一般枠はやや減っていました。今年の帰国・外国人枠は男女とも応募者がやや増加しましたが、もともと小規模な選抜ですから増えた人数も1ケタです。性格もあるので難度のコメントは控えます。一般枠は男子が昨年並み、女子は大きく増えました。三鷹中等からも一部受験生が流れたかもしれません。男子の難度は特に変化が見られませんが、女子は厳しくなっています。

南多摩中等は、昨年は男子の応募者がやや増加、女子は目立って増えていましたが、今年は男女とも少し減っています。女子は昨年の人気の反動ですが、男子も少し影響されたようです。ただ、男女とも入りやすくなるようなことはなく、難度はあまり変わっていないようです。武蔵高附属は昨年、男子の応募者が一昨年並み、女子は増えていましたが、今年は男子が目立って減少、女子も少し減りました。難度から敬遠ムードが出ているようです。男子は少し入りやすくなったようです。女子は難度が変わるほどではありませんでした。

ところで、毎年合格者の中で入学を辞退するケースがありますが、今年是小石川中等の女子が20名辞退しました。男子も8名辞退していて、他に桜修館の男子7名、武蔵高附属の男子と三鷹中等の女子各6名、白鷗高附属の女子、大泉高附属の女子、武蔵高附属の女子各5名も目立ちます。いずれも難関私立の併願者ですが、今年女子の辞退者が増加しています。

#### ◆ 神奈川県・千葉県

神奈川県でも全県合計の公立一貫校の応募者数は少し減っています。高倍率に対する敬遠でしょう。県立の相模原中等は昨年、男子の応募者が若干減って、女子は一昨年並みでした。今年は男女とも減っていて、男子の方が小幅です。男子は難度に変化がなさそうです。女子は少し入りやすくなったかもしませんが、もともと高倍率ですから、あまり目立った違いはないでしょう。平塚中等は昨年まで女子の応募者が少しずつ増えていました。今年も増えていますが小幅ですから昨年並みと考えてよい水準です。人気が一段落したのでしょう。男子は増加傾向から、昨年は少し減りま

したが、今年は再びやや増加に転じました。難度面では、男女とも変化はなかったようです。

サイエンスフロンティア高附属は、2017年の開校人気が一段落し、昨年は男女とも応募者が少し減っていましたが、今年も男子は少し減って、女子もわずかで減っています。高難度、高倍率が敬遠されての結果です。ただ、男女とも入りやすくなるほどの減少ではなく、難度面は昨年並みでしょう。横浜市立南高附属は、昨年は男子が一昨年並みの応募者数、女子は少し減っていましたが、今年は男子がやや減って、女子は少し増えています。女子はサイエンスフロンティアの開校もあって、応募者が減少傾向でしたが、人気は反転しました。ただ、男女とも変化は小幅で、難度に影響は見られませんでした。横浜市立南高附属は、学区外として横浜市民以外の神奈川県民枠を設けていて、合格者の30%以内ですが、今年は26名合格と16%でした。昨年の21名より増加しています。

市立川崎は男女別の内訳が非公表です。昨年は少し減った応募者数でしたが、今年も少し減っています。ただ、難度に影響が出るほどではなく、昨年とあまり変わっていないようです。なお、同校では2021年度からの全日制高校募集の取りやめ、完全中高一貫化を検討しています。本稿締め切り段階では、正式決定していませんので、今後の情報にご注意ください。

続いて千葉県です。県立千葉、市立稲毛、県立東葛飾の合計の応募者数は昨年より若干増えました。県立千葉は、昨年まで男子の応募者数が少しずつ減っていましたが、今年も減っていますがわずかで、昨年並みと言ってよい応募者数です。女子は、昨年は減っていましたが、今年は増加しました。いずれも人気動向が一段落したようです。1次・2次の2段階選抜なので、難度面ではあまり変わっていないようです。県立東葛飾は開校時の人気一段落して一昨年まで応募者が減少傾向でしたが、昨年は増加しました。今年は男女とも少し減っています。人気の変化が隔年的になってきました。やはり2段階選抜なので難度は昨年並みでしょう。

市立稲毛は、昨年は男子の応募者が増加、女子は一昨年並みでしたが、今年は男子が昨年並み、女子は増えています。同校は県立の2校と違って2段階選抜ではなく、1回の選抜で合否が決まります。男子は昨年並みの難度、女子はやや難化したかもしれません。な

お、千葉市教育委員会では、現在同校の高校募集を停止し、完全中高一貫に改編することを検討していますが、結論が出るのにもう少し時間がかかるようです。

#### ◆ 埼玉県・栃木県

埼玉県全体の公立一貫校応募者数は、昨年は市立大宮国際中等の開校人気で大きく増えましたが、今年は減っています。一番減ったのは、その市立大宮国際中等で、昨年1,000名を超えた応募者は、今年は700名あまりに減りました。しかし、昨年は準備不足のまま「あわよくば」と臨んだ受検生が多かったのに対して、今年は準備した受検生に絞られたこともあって、難度面ではあまり変わっていないようです。市立浦和高附属は、昨年は市立大宮国際中等と1次が併願できたこともあって、昨年は男女とも応募者が増えましたが、今年はこちらも落ち着いて、女子は応募者減、男子もやや減った結果でした。2段階選抜の1次は少し入りやすくなったようですが、昨年よりも2次の欠席者が減っていて、最終的な難度面ではあまり入りやすくなったわけではなさそうです。

県立の伊奈学園は、県立ですからさいたま市在住の児童も含めて全县から出願できますが、昨年は日程が重ならなかった市立大宮国際中等の影響はあまり見られませんでした。今年も同様で、応募者が増えていきます。やはり2段階選抜なので、難度は昨年とあまり変わっていないようです。なお、2021年度は川口市立高校附属中が開校予定です。高い人気が見込まれます。

続いて栃木県です。県全体の公立一貫校応募者数は昨年よりやや減りました。県全体の児童数の推移が影響したようです。宇都宮東高附属は男女ともに前年並みの応募者数が続いていましたが、今年は男子が昨年並み、女子は少し減りました。やや入りやすくなったかもしれません。佐野高附属は、昨年は男子の応募者がやや減って、女子は目立って増えていましたが、今年は男子が増加、女子は昨年並みです。男女交互に応募者が増えていて、この3年間で15%以上増えました。難度面では少し難化したようです。矢板東高附属は、昨年に続いて男女とも応募者が少しずつ減っています。以前は特に男子で隔年現象が見られましたから、傾向が変わってきました。地域の児童数の影響でしょう。少し入りやすくなったかもしれません。

#### ◆ 茨城県

茨城県では公立高校再編の一環で、今回一気に5校の公立一貫校が誕生し、全部で8校の体制になりました。中学受験が広がっていない地域にも開校しています。県全体の公立一貫校応募者数も大きく増えました。まず新設校から見ていきます。

竜ヶ崎第一高附属は、立地面から並木中等や私立の江戸川学園取手、茗溪学園、土浦日大や常総学院、千葉県内の芝浦工大柏、麗澤、専修大松戸なども十分に通学圏内の地域での開校で、しかも母体校は文部科学省指定のスーパー・サイエンス・ハイスクールですから、初年度から人気は十分です。応募者数は並木中等よりも少ないのですが、募集定員も少なく、実質倍率は並木中等を上回りました。準備不十分で臨んだ「あわよくば」の受検生もいましたから、難度は大手公開模試の集計を待たなければなりません、並木中等に近い水準だったかもしれません。

鹿島高附属と鉾田第一高附属は、それぞれ約100名の応募者がありました。この地域では、従来中高一貫校を選ぼうとすると、私立の清真学園しか選択肢がありませんでしたので、受検生の選択の幅が広がりました。両校の難度面は、やはり今後の公開模試の集計を待つ必要がありますが、大学進学実績の面では清真学園が鹿島や鉾田第一よりもリードしていることもあって、鹿島高附属、鉾田第一高附属とも、既存の公立一貫校や清真学園よりも少し入りやすかったのかもしれませんが。

下館第一高附属の周辺は、あまり人数は多くありませんが、私立なら栃木県の作新学院や埼玉県の昌平、栄東などを考える受検生がいる地域で、古河中等とも通学圏が一部重なります。同校も約100名の応募者があり、古河中等よりも高い実質倍率でしたが、中学受験生が少数派の地域ですから、難度面では古河中等と同等か、少し入りやすかったかもしれません。太田第一高附属は定員ギリギリの応募者数で、欠席もいましたから不合格者は出ていません。中学受験が珍しい地域で、中高一貫校を選ぶなら少々遠くても日立第一高附属や私立の茨城キリスト教学園を選んだり、近年は水戸の茨城を選ぶケースも増えていて、今回はあまり地元の支持を集められなかったようです。

次に既存校です。並木中等は、昨年は男女とも応募者が増加しましたが、今年は男子が減少、女子も微減

です。もともと隔年現象が見られる学校ですが、竜ヶ崎第一高附属の影響もあったようです。ただ、もともと高倍率でしたから、男子は入りやすくなったわけではなく、女子の難度も昨年並みでしょう。日立第一高附属は、昨年は男女とも応募者が少し減っていましたが、今年は増加していて、太田第一高附属の影響は見られません。男女とも少し難化したようです。古河中等は、昨年は男子の応募者が一昨年並みで、女子は少し増えていましたが、今年は男女とも小幅の増加です。下館第一高附属の影響は見られませんでした。難度面では昨年並みか、やや難化したかもしれません。

なお、2021年度は県立進学校の双壁、水戸第一高校

と土浦第一高校に附属中が開校するほか、勝田高校が完全中高一貫の中等教育学校に改編される予定です。高い人気になりそうです。

◆ 寮制校の東京入試

公立中高一貫校でも寮制入試を行う学校があります。鹿児島県立楠隼(なんしゅん)中学校で全寮制公立中高一貫男子校です。生徒は鹿児島県民に限らず全国募集、東京でも選抜を実施しました。今年の東京会場の受験者数は本稿執筆時点では未公表ですが、県外各会場合計の応募者数は昨年よりやや増えています。鹿児島県内の応募者数も昨年とほぼ同じだったため、難度は変化していないようです。

☆ 都立白鷗高附属の特別枠の内訳

分野	募集定員	応募者数		受検者数		合格者数	
		男	女	男	女	男	女
囲碁・将棋	6名程度	3	0	3	0	0	0
邦楽		0	3	0	3	0	2
邦舞・演劇		2	2	2	2	1	0